

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.1

ベルナール・ビュフェをもっと好きになる月刊紙!!

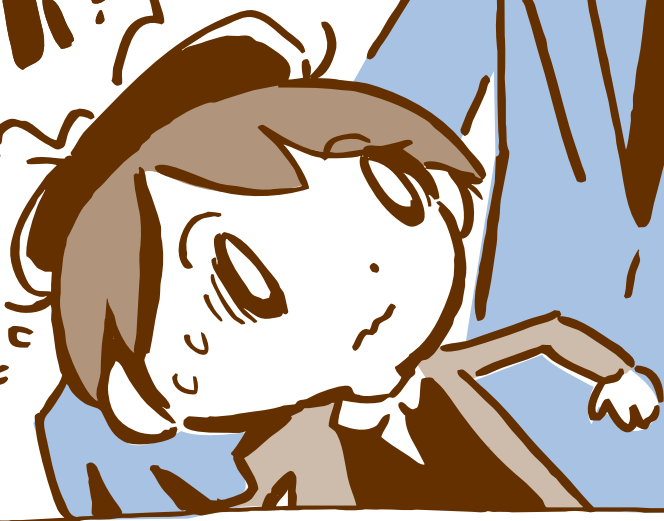
月刊ビュフェム 創刊号

第1話

ビュフェくん
誕生



醒大介



モーターは作品「父と子」(1994年)より。

1928年、フランス。

第一次世界大戦から10年。

大恐慌前、パリはまだ「狂気の時代」。

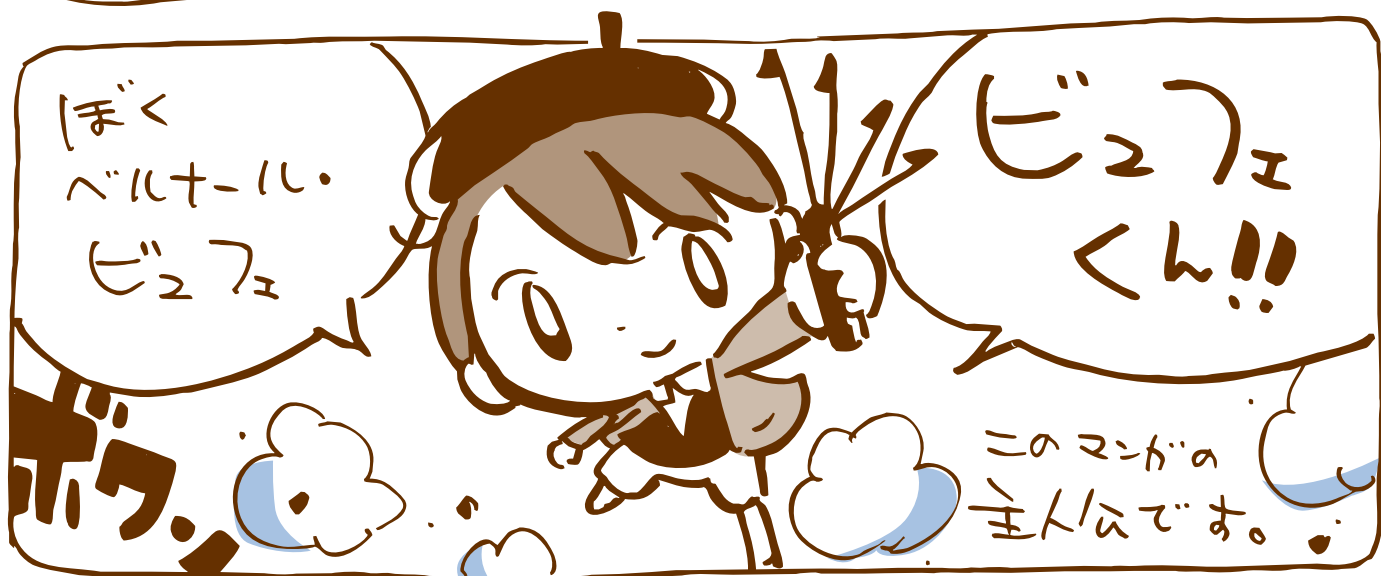
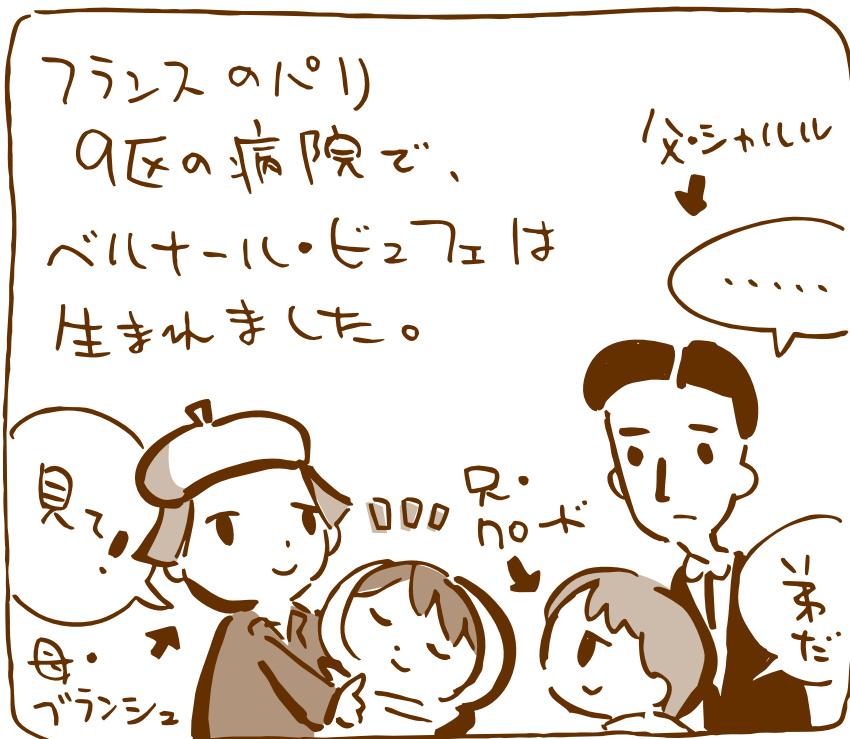


隣国ドイツでは、ナチ党の不気味な萌芽が……。

ビュフェ美術館45周年を記念して、ついに創刊だ!!

1928年は「エコール・ド・パリ」と呼ばれた画家たちの活躍した時代。
その最末期です。

自衛が、あったらいいな。



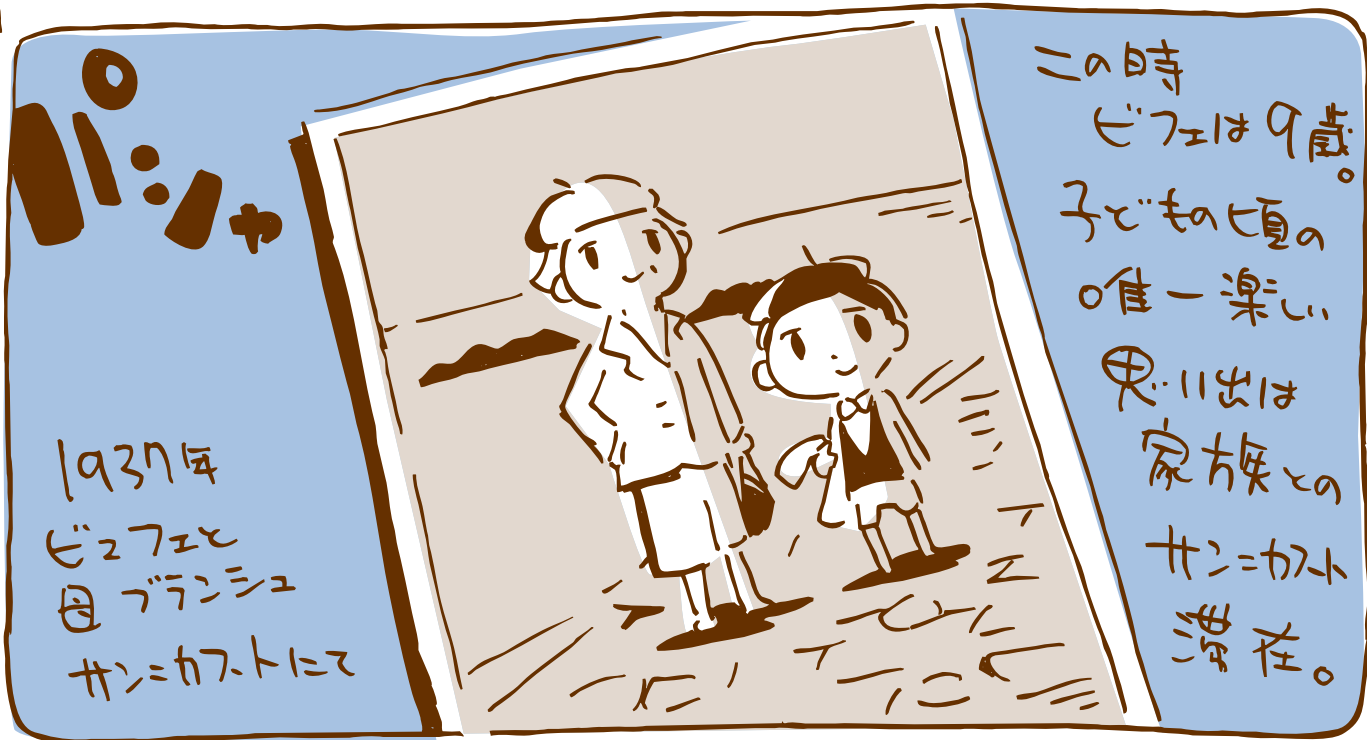
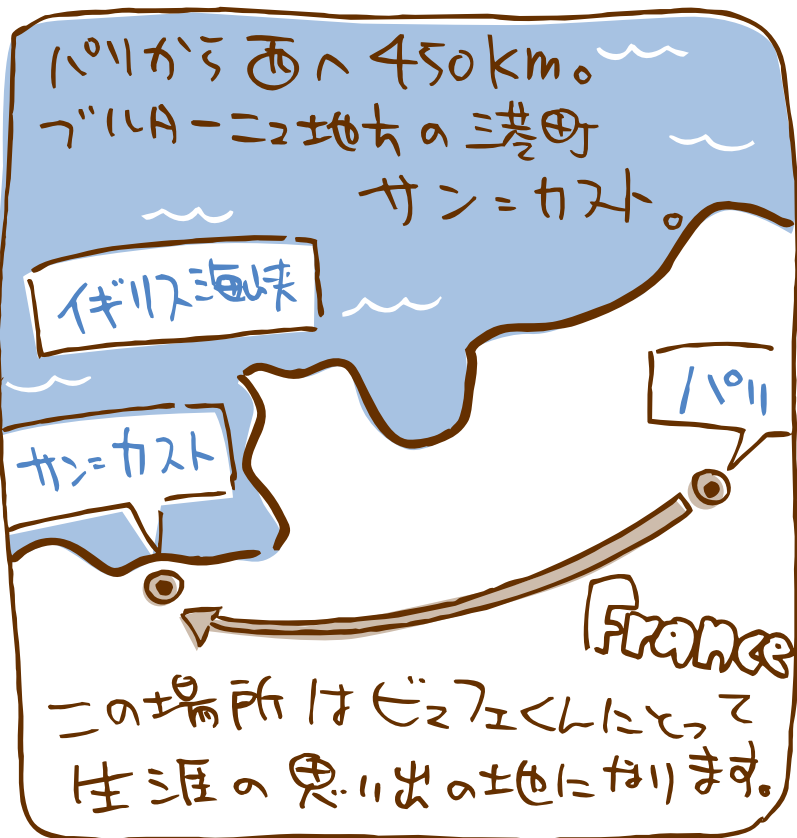
また、世帯の申し子か!!

父・シャルルは銃の製造会社を経営。
父と母ともに祖父は将校という立派な軍人家系。
幼少時のビュフェは
日々ユーウツだったそう。



第一次大戦を戦ったおじいちゃんの世代。

後年、『ドライポイント(銅版画)』をまとめた本の『サン・カスト』を出版したり、何度も絵のモチーフに。



「ビュフェくん」の服装は「1937年」を参考としています。



「月刊ビツェくん」が読めるのは、ビツェ美術館だけ!!

ビツェがその特徴的な
画風を生み出す以前、
1945年に「父と子」
という作品を描きますが....。



キュビズムの影響が
見える不気味な造形。
青味がかった薄暗い
グレーの色彩。不隠さ。

そっくりたけい
虚ろな顔。
少年時代の
父子関係の
困難さを
描き出してい
る気がします。

हांか
やっほ
パパ無理

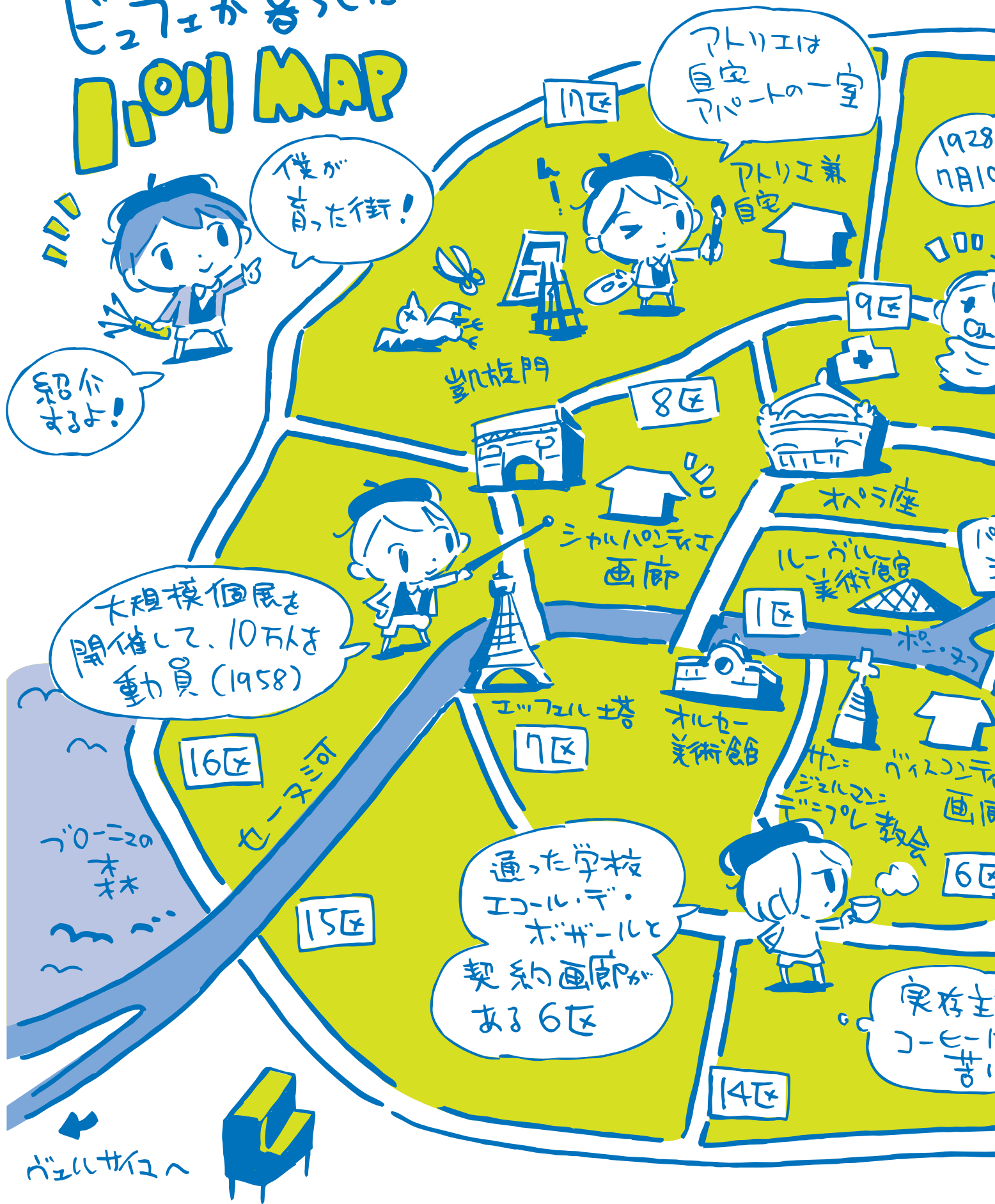


バク

「月刊ビツェくん」は毎月刊行!! 次号をお楽しみに。

どうでもいいけど、お父さん耳が大きい。

ビュフェが暮らした
100 MAP



シャルル・ボードラン
の道へ

Musée Bernard Buffet



毎日生
生まれる
9区の病院

の中心
島
ノートル
ダム寺院

の
店

義と
ま
い...

サン・マルタン運河

絵を学んだ
夜間学校は
4区

初個展を
開催(1947)

12区

セーヌ川

ジャン
セーヌの
木

11) 20区は
左巻きの
エスカレーター型!